

2010年6月4-5日にかけて、ナノバイオ関係の研究に従事している若手研究者27名がメディアパーク デザインホール(名古屋)に集まり、第3回若手ネットワーキングシンポジウムを開催しました。当GCOEからは医工薬分野の特任教員が3名参加し、また全国12の大学・研究機関から24名の若手研究員が参加しました。本シンポジウムは、2008年に第1回が開催され、今回は3回目のシンポジウムとなりました。初めて農学系研究科からの参加者もあり、融合研究の輪がさらに広がりつつあります。

シンポジウムでは、参加研究員全員が短い時間ながらも自己紹介まで含めて研究内容を発表しました。幅広いナノバイオ分野からの参加者がありましたが、第1回から連続して参加している研究者にとっては、研究内容の詳細が理解でき、さらに信頼関係が構築されているため、非常に深い議論がなされました。今回が初めての参加者も、各発表が分かり易く面白いため、非常に満足度の高いシンポジウムだったと思われます。講演終了後も、様々な異分野融合の可能性について議論がなされ、話し合いが深夜を越えるまで続きました。次回の本シンポジウムは、来年、北海道で開催することになりました。

(報告 加藤 大)

